

学校いじめ防止基本方針

五所川原市立南小学校

1 学校いじめ防止基本方針

いじめは、冷やかしやからかいなどのほか、情報機器を介したいじめ、暴力行為に及ぶいじめなど、学校だけでは対応が困難な事案も増加している。また、いじめをきっかけに不登校になってしまったり、自らの命を絶とうとしてしまったりするなど、深く傷つき、悩んでいる児童もいる。いじめの問題への対応は学校として大きな課題である。

そこで、児童が意欲を持って充実した学校生活を送れるように、いじめ防止に向け、日常の指導体制を定め、いじめの未然防止を図りながら、いじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合は適切に且つ速やかに解決するための「学校いじめ防止基本方針」（いじめ防止全体計画）を定める。

2 いじめとは

(1) いじめの定義

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

(2) いじめに対する基本的な考え方

- ・「いじめは絶対許されない」、「いじめる側が悪い」との認識
- ・「いじめは、どの児童にも、どの学校においても起こりうる」との認識
- ・「いじめの未然防止は、学校・教職員の重要課題」との認識

(3) いじめの構造と動機

① いじめの構造

いじめは、「いじめられる児童」、「いじめる児童」だけでなく、「観衆」・「傍聴者」などの周囲の児童がいる場合が多い。周囲の児童の捉え方により、抑止作用になったり促進作用になったりする。

② いじめの動機

いじめの動機には、以下のものなどが考えられる。（東京都立研究所の要約引用）

- ・嫉妬心（相手をねたみ、引きずり下ろそうとする）
- ・支配欲（相手を思いどおりに支配しようとする）
- ・愉快犯（遊び感覚で愉快的な気持ちを味わおうとする）
- ・同調性（強いものに追従する、数の多い方に入りたい）
- ・嫌悪感（感覚的に相手を遠ざけたい）
- ・反発・報復（相手の言動に対して反発・報復したい）
- ・欲求不満（いらいらを晴らしたい）

(4) いじめの態様

いじめの態様には、以下のものなどが考えられる。

悪口を言う・あざける・落書き・物壊し・集団での無視、陰口、避ける、ぶつかる・小突く、命令・脅し、性的辱め、部活動中のいじめ、メール等による誹謗中傷、噂流し、授業中のからかい、仲間はずれ、嫌がらせ、暴力、たかり、使い走り

3 いじめ防止の指導体制・組織的対応

(1) 日常の指導体制

いじめを未然に防止し、早期に発見するための日常の指導体制を以下の通りとする。

別紙1 *いじめ防止委員会の設置

(2) 緊急時の組織的対応

いじめを認知した場合のいじめの解決に向けた組織的な取組を以下の通りとする。

別紙2 *いじめ対策委員会の設置

4 いじめの予防

いじめの問題への対応では、いじめを起こさせないための予防的取組が求められる。学校においては教育活動全体を通して、自己有用感や規範意識を高め、豊かな人間性や社会性を育てることが重要である。

(1) 学習指導の充実

- ・規範意識、帰属意識を互いに高める集団づくり
- ・コミュニケーション能力を育み、自信を持たせ、一人一人に配慮した授業づくり

(2) 特別活動、道徳教育の充実

- ・特別活動における望ましい人間関係づくりの活動
- ・ボランティア活動の充実

(3) 教育相談の充実

- ・面談の定期的実施（4月、6月、11月、3月）

(4) 人権教育の充実

- ・人権意識の高揚
- ・講演会等の開催

(5) 情報教育の充実

- ・情報モラル教育の充実

(6) 保護者・地域との連携

- ・いじめ防止対策推進法、学校いじめ防止基本方針等の周知
- ・学校公開の実施

5 いじめの早期発見

いじめ問題を解決するために最も重要なポイントは、早期発見・早期対応である。児童の言動に留意するとともに、何らかのいじめのサインを見逃すことなく発見し、早期に対応することが重要である。

(1) いじめの発見

いじめ行為を直接発見した場合は、その行為をすぐ止めさせるとともに、いじめられている児童や通報した児童の安全を確保する。「緊急時の組織的対応」により速やかに報告し、事実確認をする。

(2) いじめられている児童・いじめている児童のサイン

別紙3

(3) 教室・家庭でのサイン

別紙4

(4) 相談体制の整備

- ・相談窓口の設置・周知
- ・面談の定期的実施（4月、6月、11月、3月）

(5) 定期的調査の実施

- ・いじめアンケートの実施（毎月）
- ・なかよしアンケートの実施（4月、5月、10月、2月）→教育相談の実施

(6) 情報の共有

- ・報告経路の明示・報告の徹底
- ・職員会議等での情報共有
- ・要配慮児童の実態把握
- ・進級時の引継ぎ

6 いじめへの対応

(1) 児童への対応

① いじめられている児童への対応

いじめられている児童の苦痛を共感的に理解し、心配や不安を取り除くとともに、全力で守り抜くという「いじめられている児童の立場」で、継続的に支援することが重要である。

- ・安全・安心を確保する。
- ・心のケアを図る。
- ・今後の対策について、共に考える。
- ・活動の場等を設定し、認め、励ます。
- ・温かい人間関係をつくる。

② いじている児童への対応

いじめは決して許されないという毅然とした態度で、いじている児童の内面を理解し、他人の痛みを知ることができるようにする指導を根気強く行う。

- ・いじめの事実を確認する。
- ・いじめの背景や要因の理解に努める。
- ・いじめられている児童の苦痛に気づかせる。
- ・今後の生き方を考えさせる。
- ・必要がある場合は懲戒を加える。

(2) 関係集団への対応

被害・加害児童だけでなく、おもしろがって見ていたり、見て見ぬふりをしたり、止めようとしなかったりする集団に対しても、自分たちでいじめ問題を解決する力を育成することが大切である。

- ・自分の問題として捉えさせる。
- ・望ましい人間関係づくりに努める。
- ・自己有用感が味わえる集団づくりに努める。

(3) 保護者への対応

① いじめられている児童の保護者に対して

相談されたケースでは、複数の教員で対応し学校は全力を尽くすという決意を伝え、少しでも安心感を与えられるようにする。

- ・じっくりと話を聞く。
- ・苦痛に対して本気になって精一杯の理解を示す。
- ・親子のコミにケーションを大切にするなどの協力を求める。

② いじている児童の保護者に対して

事実を把握したら速やかに面談し、丁寧に説明する。

- ・いじめは誰にでも起こる可能性がある。

- ・児童や保護者の心情に配慮する。
- ・行動が変わるよう教員として努力していくこと、そのためには保護者の協力が必要であることを伝える。
- ・何か気づいたことがあれば報告してもらう。

③保護者同士が対立する場合など

教員が間に入って関係調整が必要となる場合がある。

- ・双方の和解を急がず、相手や学校に対する不信等の思いを丁寧に聞き、寄り添う態度で臨む。
- ・管理職が率先して対応することが有効な手段となることもある。

(4) 関係機関との連携

いじめは学校だけでの解決が困難な場合もある。情報の交換だけでなく、一体的な対応をうることが重要である。

①教育委員会との連携

- ・関係児童への支援・指導、保護者への対応方法
- ・関係機関との調整

②警察との連携

- ・心身や財産に重大な被害が疑われる場合
- ・犯罪等の違法行為がある場合

③福祉関係との連携

- ・家庭の養育に関する指導・助言
- ・家庭での児童の生活、環境の状況把握

④医療機関との連携

- ・精神保健に関する相談
- ・精神症状についての治療、指導・助言

7 ネットいじめへの対応

(1) ネットいじめとは

文字や画像を使い、特定の児童の誹謗中傷を不特定多数の者や掲示板等に送信する、特定の児童になりすまし社会的信用を貶める行為をする、掲示板等に特定の児童の個人情報に掲載するなどがネットいじめであり、犯罪行為である。

(2) ネットいじめの予防

①保護者への啓発

- ・フィルタリング
- ・保護者の見守り

②情報教育の充実

- ・「教科情報」における情報モラル教育の充実

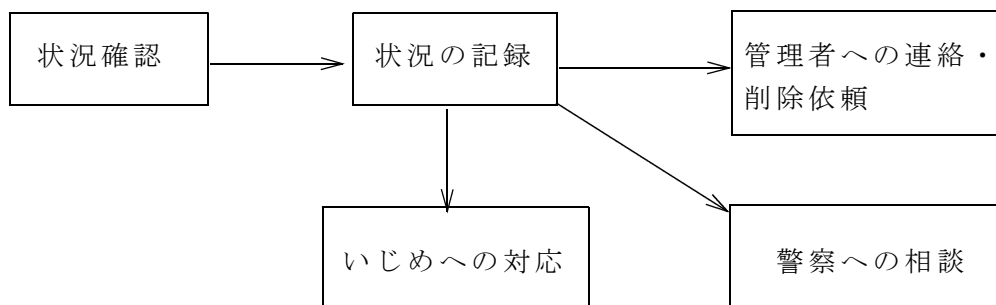
③ネット社会についての講話（防犯）の実施

(3) ネットいじめへの対処

①ネットいじめの把握

- ・被害者からの訴え
- ・閲覧者からの情報
- ・ネットパトロール

② 不当な書き込みへの対処



8 重大事態への対応

(1) 重大事態とは

① 児童の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがある。

- ・ 児童が自殺を企画した場合
- ・ 精神性の疾患を発症した場合
- ・ 身体に重大な障害を負った場合
- ・ 高額の商品を奪い取られた場合

② 児童が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている。

- ・ 年間の欠席がおよそ30日以上の場合
- ・ 連続した欠席の場合は、状況により判断する。

(2) 重大事態時の報告・調査協力

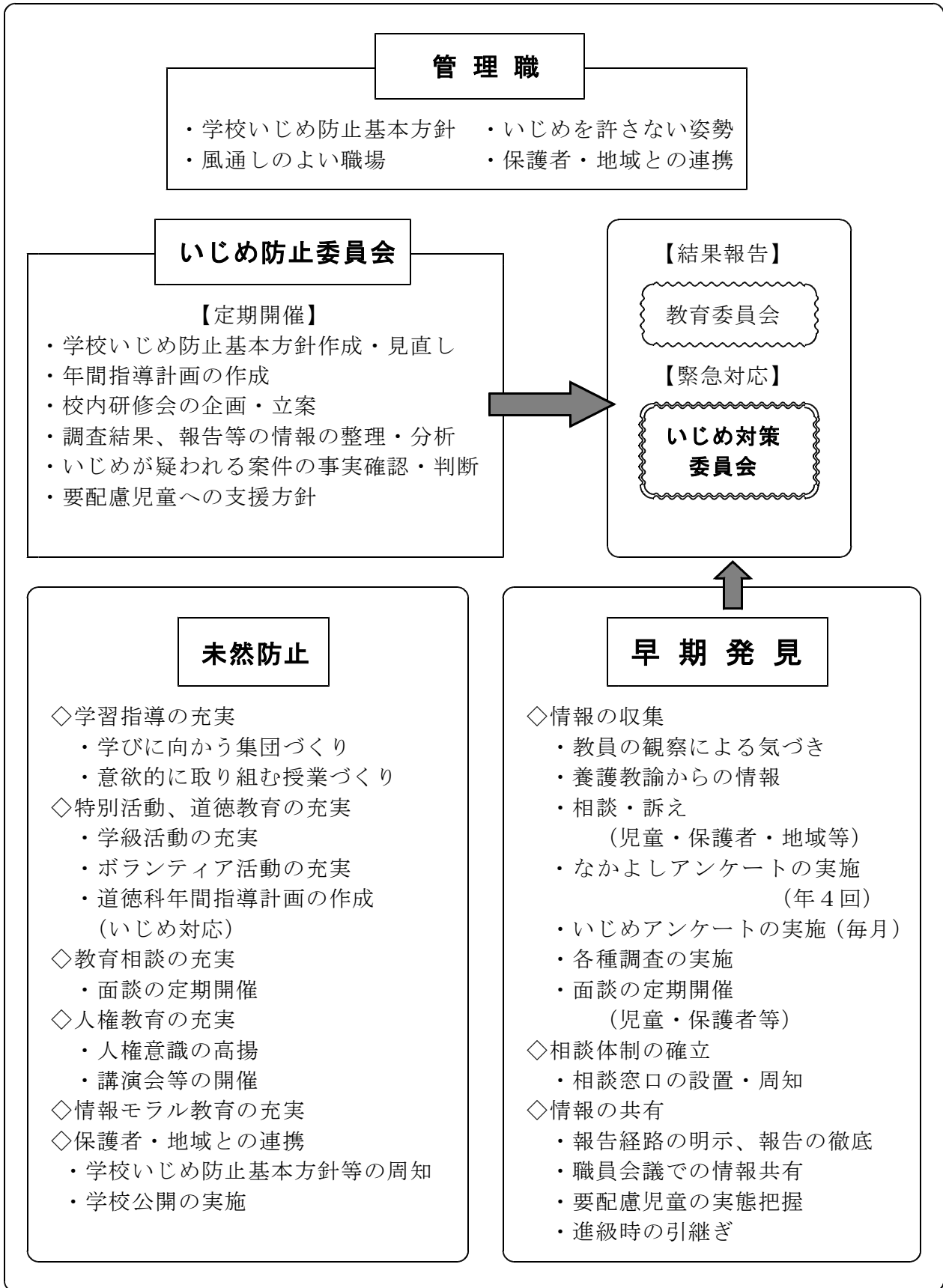
学校が重大事態と判断した場合、県教育委員会に報告するとともに、県教育委員会が設置する重大事態調査のための組織に協力する。

9 いじめ防止にかかわる年間指導計画

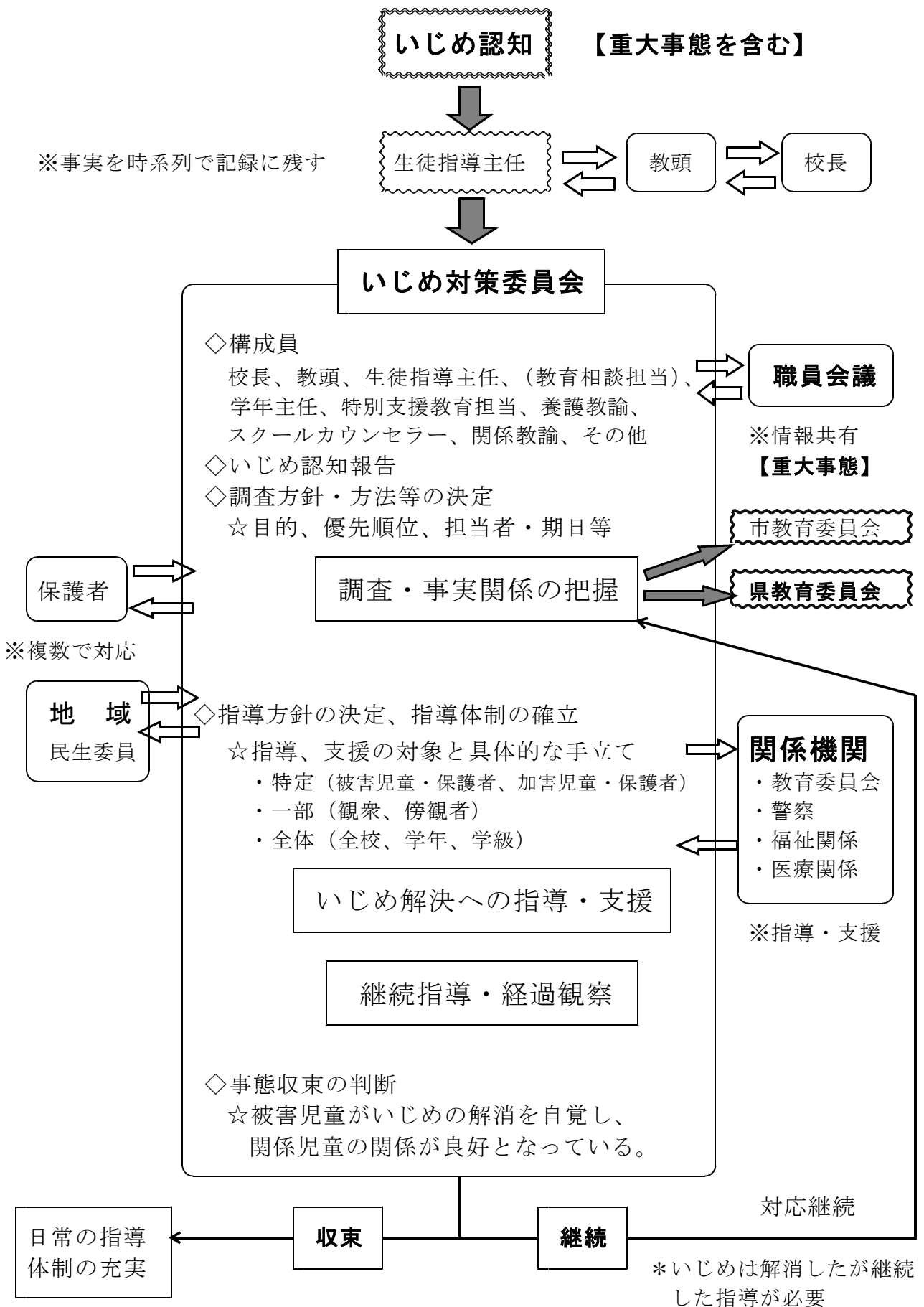
月	重点項目	児童理解	主な行事等	備考
4 ・ 5	いじめ防止対策委員会の組織づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学式・始業式 ・ 参観日 ・ 前期児童会総会 ・ 自転車教室 ・ 自宅確認 ・ 避難訓練 ・ 運動会 ・ 身体測定 ・ 健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の街頭安全指導
	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつ ・ 廊下や階段の歩行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なかよしアンケート ・ いじめに関するアンケート ・ 教育相談（4月） ・ 職員会議での情報交換 		
6 ・ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉遣い ・ 休み時間の過ごし方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なかよしアンケート ・ いじめに関するアンケート ・ 教育相談（6月） ・ 職員会議での情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学旅行 ・ 参観日 ・ 大清掃 ・ 終業式 ・ プール活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宵宮巡回指導

夏	・ 前期評価会議			〈夏季休業日〉	
8	・ あいさつ	・ 定期個人面談 (保護者対象)	・ 始業式	・ 避難訓練	・ 秋の街頭安全指導
9	・ 廊下や階段の 歩行	・ いじめに関するアンケート ・ 職員会議での情報交換	・ なかよしゲーム 集会 ・ 一日参観日 ・ 遠足 ・ 宿泊学習		
10	・ 言葉遣い	・ なかよしアンケート	・ 避難訓練	・ 音楽発表会	
11	・ 時間を守る	・ いじめに関するアンケート ・ 教育相談 (11月) ・ 職員会議での情報交換			
12	・ あいさつ	・ いじめに関するアンケート	・ 参観日	・ 清掃週間	
1	・ 休み時間の過 ごし方	・ 職員会議での情報交換	・ 終業式	・ 始業式 ・ 学力テスト	
冬	・ 後期評価会議			〈冬季休業日〉	
2	・ 言葉遣い	・ なかよしアンケート	・ 参観日	・ 避難訓練	
3	・ 廊下や階段の 歩行	・ いじめに関するアンケート ・ 教育相談 (3月) ・ 職員会議での情報交換	・ 後期児童会総会 ・ 6年生を送る会 ・ 清掃週間 ・ 卒業式 ・ 修了式		

日常の指導体制（未然防止・早期発見）



緊急時の組織的対応 (いじめへの対応)



別紙 3

1 いじめられている児童のサイン

いじめられている児童は自分から言い出せないことが多い。多くの教員の目で多くの場面で児童を観察し、小さなサインを見逃さないことが大切である。

場 面	サ イ ン	
登校時 朝の会	<input type="checkbox"/>	遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。
	<input type="checkbox"/>	教員と目線が合わず、うつむいている。
	<input type="checkbox"/>	体調不良を訴える。
	<input type="checkbox"/>	提出物を忘れてたり、期限に遅れる。
授業中	<input type="checkbox"/>	保健室・トイレに行くようになる。
	<input type="checkbox"/>	教材等の忘れ物が目立つ。
	<input type="checkbox"/>	机周りが散乱している。
	<input type="checkbox"/>	教科書・ノートに汚れがある。
	<input type="checkbox"/>	突然個人名が出される。
休み時間等	<input type="checkbox"/>	用のない場所にいることが多い。
	<input type="checkbox"/>	ふざけ合っているが表情がさえない。
	<input type="checkbox"/>	衣服が汚れている。
	<input type="checkbox"/>	一人でいる。
放課後等	<input type="checkbox"/>	慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。
	<input type="checkbox"/>	持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされる。
	<input type="checkbox"/>	一人で部活動の準備・片付けをしている。

2 いじめている児童のサイン

いじめている児童がいることに気がついたら、積極的に児童の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

	サ イ ン
<input type="checkbox"/>	教室で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている。
<input type="checkbox"/>	ある児童にだけ、周囲が異常に気を遣っている。
<input type="checkbox"/>	教員が近づくと、不自然に分散したりする。
<input type="checkbox"/>	自己中心的な行動が目立ち、ボスの存在の児童がいる。

別紙 4

1 教室でのサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払うなど、サインを見逃さないようにする。

	サイン
<input type="checkbox"/>	嫌なあだ名が聞こえる。
<input type="checkbox"/>	席替えなどで近くの席になることを嫌がる。
<input type="checkbox"/>	何か起こると特定の児童の名前が出る。
<input type="checkbox"/>	筆記用具等の貸し借りが多い。
<input type="checkbox"/>	壁等にいたずら、落書きがある。
<input type="checkbox"/>	机や椅子、教材等が乱雑になっている。

2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。児童の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

	サイン
<input type="checkbox"/>	学校や友達のことを話さなくなる。
<input type="checkbox"/>	友達やクラスの不平・不満を口にするようになる。
<input type="checkbox"/>	朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。
<input type="checkbox"/>	電話に出たがらなかったり、友達からの誘いを断ったりする。
<input type="checkbox"/>	不審な電話がかかってくる。
<input type="checkbox"/>	遊ぶ友達が急に変わる。
<input type="checkbox"/>	部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。
<input type="checkbox"/>	理由のはっきりしない衣服の汚れがある。
<input type="checkbox"/>	理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。
<input type="checkbox"/>	登校時刻になると体調不良を訴える。
<input type="checkbox"/>	食欲不振・不眠を訴える。
<input type="checkbox"/>	学習時間が減る。
<input type="checkbox"/>	成績が下がる。
<input type="checkbox"/>	持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。
<input type="checkbox"/>	家庭の品物・金銭がなくなる。
<input type="checkbox"/>	大きな額の金銭を欲しがる。